

「シブヤ部活動改革プロジェクト 地域クラブ化推進に関する基本方針」(案)  
 に関するパブリック・コメント実施結果について

1 実施期間

令和7年12月25日(木)から令和8年1月18日(日)まで

2 提出件数

意見総数 10件

提出方法

郵送	持参	ファックス	電子メール	区公式LINE
0人	0人	0人	2人	4人

※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、意見総数と提出者の合計人数は一致しません。

3 提出された主な意見と区の考え方

No.	区分	主な意見要旨	区の考え方
<b>II 地域クラブ化にむけた基本方針 2 目指す方向性</b>			
1	全体	部活動改革を大人の都合(負担軽減)で終わらせず、子どもの「自律」「冒険」の場として再定義して、子どもたちの意見を踏まえながら、目指す方向性や部活動改革のメッセージを発信してほしい。	本基本方針では、「すべての子どもが生涯にわたり興味・関心に応じて継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保すること」を目指す方向性として示しています。本基本方針や区が目指す方向性について、情報発信してまいります。
<b>II 地域クラブ化にむけた基本方針 4 具体的な取組</b>			
<b>基本方針1 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備</b>			
2	(1) 渋谷区スポーツ協会の役割	区立中学だけの取組から、渋谷にある高校や私立中高も含めた取組にして、スポーツや若者を支援してほしい。	将来的には、多世代が参加できる仕組みを視野に入れており、区立中学校の生徒のみではなく、小学5・6年生の児童や私立中学校に通う生徒、高校生も対象にしてまいります。
3	(6) 生徒・保護者等の関係者の理解促進	区民、子育て世代に情報が届くよう、現在の広報活動を「行政情報の周知」から「未来のストーリーの共有」へとアップデートしてほしい。	本基本方針や取組について、保護者説明会や渋谷区の各種公式SNSで分かりやすく発信し、区民、特に子育て世代の皆様が届くよう周知してまいります。
<b>II 地域クラブ化にむけた基本方針 4 具体的な取組</b>			
<b>基本方針2 プレーヤーズ・センタードを支える環境づくり</b>			

4	(1) 地域クラブ活動の目指す方向性	シブヤ未来科の探究から部活動に発展する可能性など、生徒主体で新たな部活動の立上げができる仕組みを作ってほしい。	地域クラブ活動の目指す方向性としては、参加する子どもたち自身も、新たな地域クラブのあり方、運営を考え、主体的に関わっていくことを期待しています。
5	(3) 地域連携	地域クラブ化を推進するにあたり、住民コミュニティのみならず、不動産所有者、管理事業者、都市開発関連事業者との交流・協働の仕組みを組み込むことを検討してほしい。	いただいたご意見を参考に検討してまいります。
6	(4) 学校の役割	生徒の部活動参加に関して困りごとや気づきがあれば学校からも意見が出せるような関係性を構築してほしい。	学校と地域クラブの受け皿となるスポーツ協会は、定期的に協議を行うなど情報交換の場を設け、密な連携を図ってまいります。
7		部活動が学校運営の場合は学校と密な話し合いができたが、何か問題や意見があった場合、ユナイテッド（スポーツ協会）に保護者の意見を伝える環境を整えてほしい。	地域クラブ化した後も、困りごとなどの相談や問い合わせができるよう、今後、スポーツ協会に相談窓口を設置し、学校と連携して、生徒や保護者の皆様が安心して活動できるクラブの体制を整えてまいります。
8	(5) 指導者等の質の保障・量の確保	多くの人が子どもに関わるようになり、安全面の確保が心配なので、日本版 DBS で犯罪歴がないことを確認してほしい。	こども家庭庁が公表する「日本版 DBS」の運用指針を踏まえて、日頃から性暴力を未然に防止するための具体的な対策を講じる必要があることから、基本方針 2（5）④日本版 DBS への対応について追記し、対応を検討してまいります。
II 地域クラブ化にむけた基本方針 4 具体的な取組			
基本方針 3 活動場所・移動手段の確保			
9	(1) 新しい学校づくり	学校建て替えに伴い、校庭が使えない期間を、街全体をキャンパスに変えるチャンスにしてほしい。	学校建て替えの進捗状況をふまえて、地域クラブの実施に向けて、活動場所の検討を進めてまいります。
10	(4) 活動場所への移動	子どもたちが自ら安全に移動する手段として、企業の技術を活かした「ジュニア・シャトル」の運行や「移動見守りアプリ」の導入を検討してほしい。	地域クラブの活動場所への移動については、徒歩又は公共交通機関を基本としますが、自転車移動も実施できるよう検討を進めています。